

平成24年9月28日

報道関係者各位

三井不動産レジデンシャル株式会社
株式会社立山システム研究所

ひとり暮らしの父や母の生活リズムを、先進・安心の人感センサーで見守る

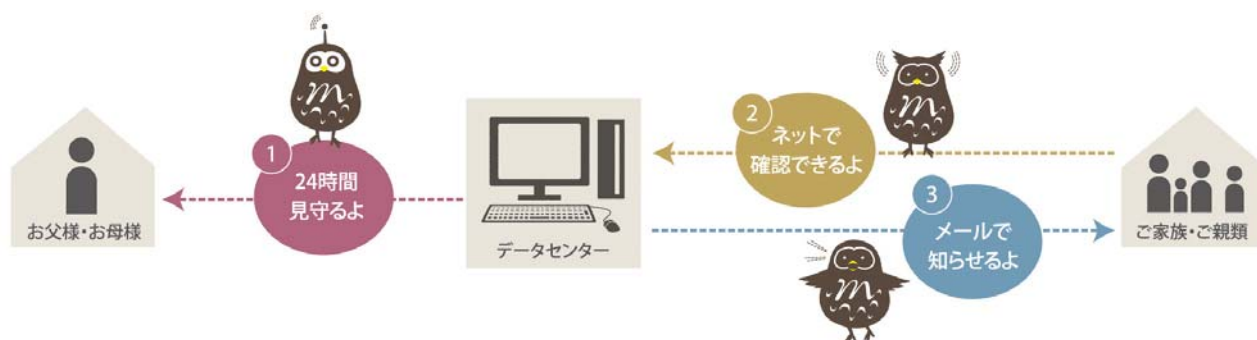
見守り&お知らせサービス「ミマモ」導入開始

三井不動産レジデンシャルと立山システム研究所が共同開発
「三井のすまいLOOP」会員対象に10月よりサービス受付開始

- 三井不動産レジデンシャル株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:藤林清隆)と株式会社立山システム研究所(本社:富山県富山市、代表取締役社長:水口勝史)は、ひとり暮らしのご家族と別世帯で暮らすご家族を安心してつなぐ、見守り&お知らせサービス「ミマモ」を共同開発いたしました。
- 「ミマモ」は、ひとり暮らしのご家族の生活リズムを24時間365日見守り、異常と判断したときには、離れて暮らすご家族にメールで知らせるサービスです。三井不動産レジデンシャルと立山システム研究所がシステムとサービス体制を共同開発し、「三井のすまいLOOP会員」を対象に10月からサービスを提供します。
- 三井不動産レジデンシャルが実施した、「別世帯で暮らす父や母の生活や健康に関するアンケート」によると、約6割の方が離れて暮らすご両親の生活や健康を「不安・心配」と感じていました。このような結果を踏まえ、三井不動産レジデンシャルは高齢化社会や社会構造の変化のニーズに応える新しい取り組みとして、新サービス「ミマモ」の提供を開始することいたしました。
- サービスの対象となる世帯は、開始当初は首都圏のマンション居住者とし、随時全国へとサービス範囲を拡大していく予定です。

[ミマモの特長]

- ① 24時間365日、室内での生活リズムを人感センサーで見守ります。
- ② 離れて暮らすご家族が、生活リズムのデータをネットで確認できます。
- ③ 住居内の行動回数が極端に少ない場合、ご家族にメールで知らせます。



[ミマモ システム概念図]

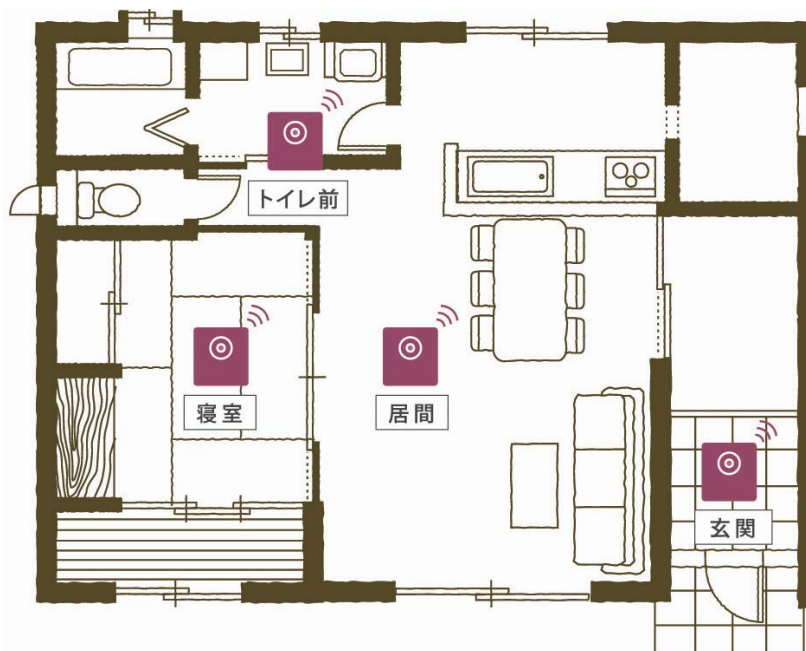
人感センサーによる、先進・安心のシステム「ミマモ」

見守りたいご家族の住居内に、熱の微妙なゆらぎを感知する人感センサーを設置し、生活リズムをチェックします。生活リズムのデータはインターネット回線を通じてデータセンターに送られます。そこで解析された生活リズムの画像は、離れて暮らすご家族がインターネットで確認でき、一日の行動パターンや運動量の変化などを見守ることができます。もしも、住居内の行動回数が極端に少ないデータを検知し、異常と判断した場合は、事前に登録されたアドレスにメールを自動発信してご家族にお知らせします。

① 24時間365日、室内での生活リズムを人感センサーで見守ります。

人感センサー(ミマモセンサー)を寝室・玄関など希望される各居室内の天井に設置し、居住者の生活リズムを見守ります。ミマモセンサーは電池で作動する省エネ設計。ミマモセンサーと受信機は電波を利用するため配線不要で、大掛かりな設置工事は不要です。また、ミマモセンサーは手のひらサイズ(7cm角)で目立ちにくく、カメラと異なり存在感が小さいので、ご家族は気兼ねなくいつも通りに生活できます。

〔ミマモセンサー設置の一例〕



〔ミマモセンサー〕



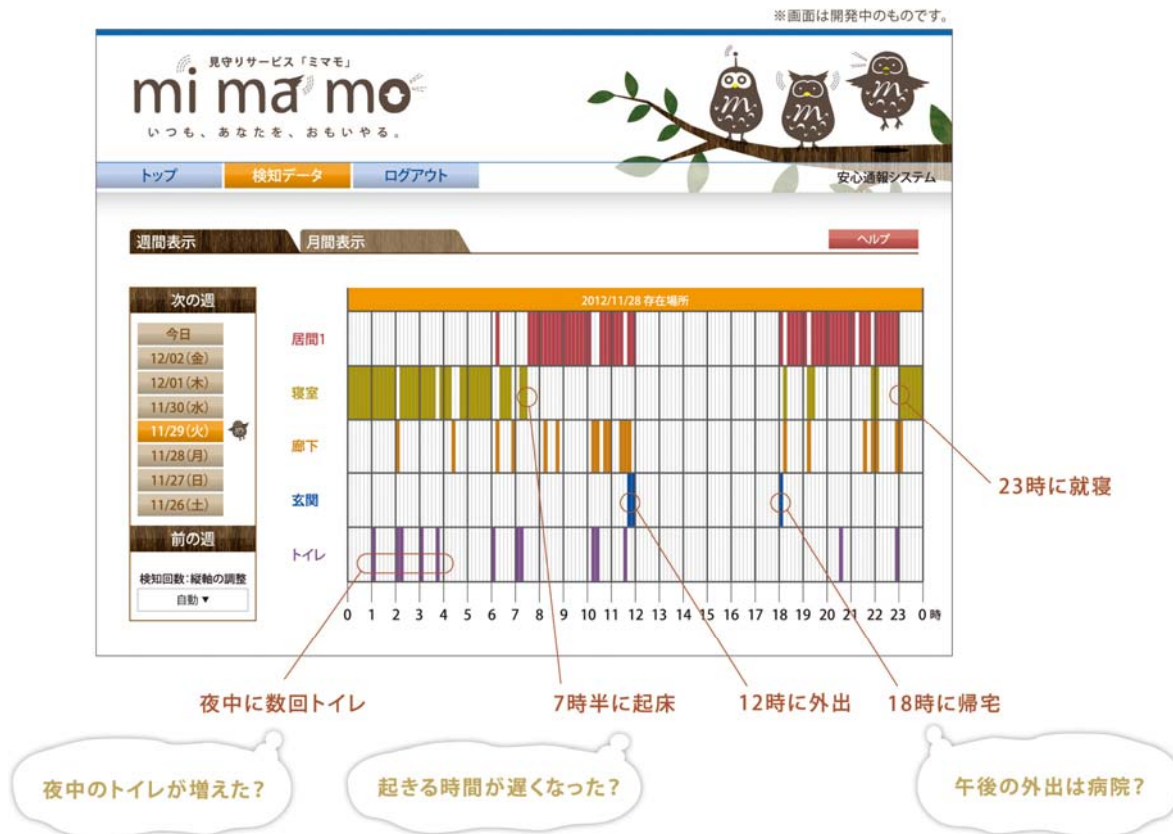
※ミマモセンサーは4台までが基本装備ですが、最大7台・7ヶ所に設置できます(5台目から別途料金がかかります)。

② 離れて暮らすご家族が、生活リズムのデータをネットで確認できます。

センサーで検知した信号を画像データとしてグラフ化し、インターネットを介して「生活閲覧画面」としてパソコンで確認できます。データは24時間のグラフで表示され、「何時にどの部屋にいたか」を知ることができます。また、データは蓄積されるので、1日単位で確認したり、生活リズムを週単位、月単位で比較でき、起床時間や就寝時間の変化、夜中のトイレ回数の増減など、病気予防や事故防止に役立てることができます。

※インターネットで確認できるのは1～2時間前のデータであり、リアルタイムではありません。

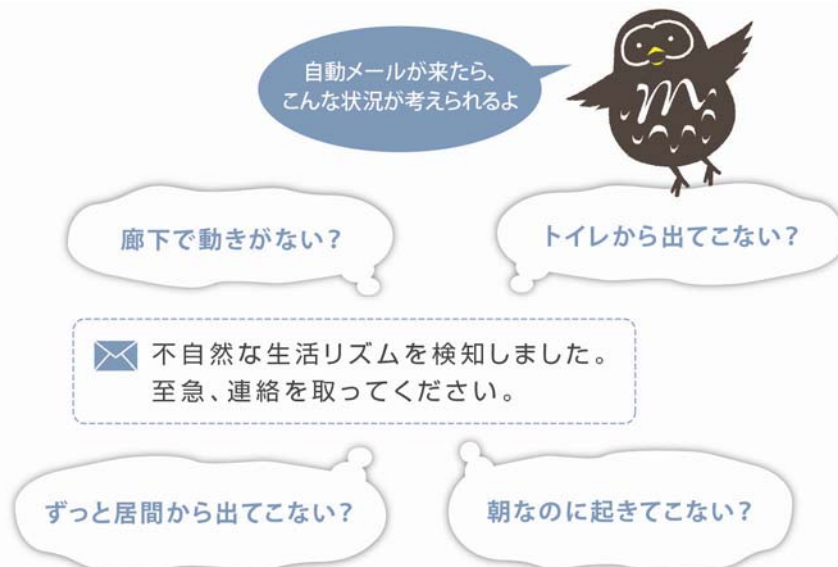
[ミマモ 生活閲覧画面(イメージ)]



③ 住居内の行動回数が極端に少ない場合、ご家族にメールで知らせます。

「動きがない」「起床しない」など、居室内の行動が極端に少ないデータを検知し、異常と判断した場合、事前に登録しておいたご家族のアドレスに「気付けメール」を自動送信します。また、設置後1ヵ月以内に生活リズムを検証し、メール送信の判断基準をカスタマイズすることで、気付けメールの精度をさらに向上させることができます。

※メールアドレスは、最大9ヶ所まで登録できます。また、メールは具体的な異常内容をお知らせするものではありません。



技術と実績のある「立山システム研究所」と共同開発

立山システム研究所は最先端の技術開発やモノづくりを行っている会社で、各種システム・インテグレーション、コンピュータソフトウェア、各種福祉サービス、画像システムなどの企画・開発から運用・保守までの一貫したサービスを提供しています。なかでも、人感センサーを活用したシステム分野で多くの実績をもち、「ミマモ」のシステムとサービス体制を三井不動産レジデンシャルと共同開発することになりました。

高齢社会のニーズと、お客様の声から生まれたサービス

三井不動産レジデンシャルが実施した“みんなのMOCアンケート「離れて暮らすご両親とのコミュニケーション」”の結果(※)によると、別世帯で暮らす父や母との距離(移動時間)が1時間以上離れている方は6割を占めており、実際に訪ねて顔を見る頻度は「2～3ヶ月に1回程度」よりも少ないことがわかりました。また、父や母の生活や健康に関しては、約6割の方が「不安・心配」と感じていました。

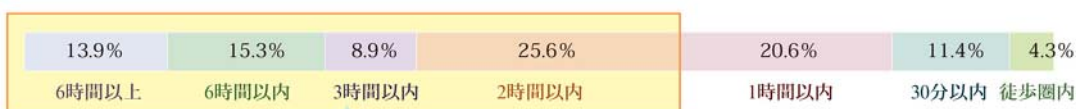
※2012年7月に実施:「みんなのMOCアンケート」 <http://www.37sumai.com/enquete/2012/07/12071301.html>

＜調査方法＞三井不動産レジデンシャル運営のコミュニティサイト「みんなの住まい」のユーザーを対象としたWEBアンケート(回答者:506名)

Question

あなたご自身のご両親(もしくは、お父様、お母様)のお住まいとあなたのお住まいはどの程度距離がありますか。

Answer ご自分のご両親と離れて暮らしている方対象 / 回答数281人

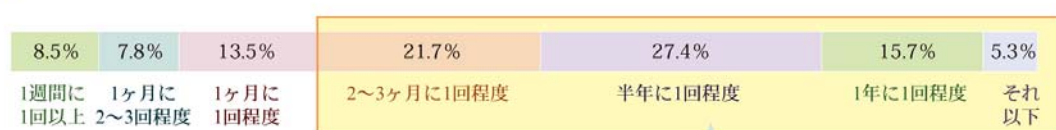


今全体の6割の方が、ご両親と「1時間以上かかる距離」で暮らしていることがわかりました。

Question

あなたは、ご自身のご両親(もしくは、お父様、お母様)のお住まいをどれくらいの頻度で訪ねていますか。

Answer ご自分のご両親と離れて暮らしている方対象 / 回答数281人

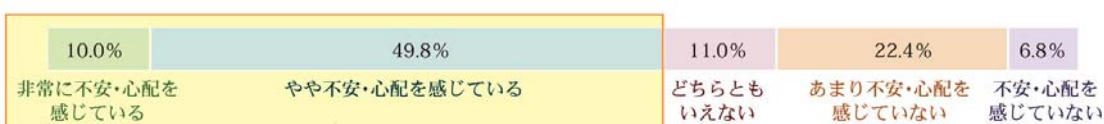


実際に訪ねる頻度は「2～3ヶ月に1回程度」もしくは「それ以下」の方が7割を占め、離れて暮らしていると、なかなか会えないようです。

Question

ご両親(もしくは、お父様、お母様)と別世帯で暮らしていることで、ご両親(もしくは、お父様、お母様)の生活や健康に、あなたはどの程度不安・心配を感じていますか。

Answer ご自分のご両親と離れて暮らしている方対象 / 回答数281人



離れて暮らすご両親に対して、約6割の方が「不安・心配」と感じていることがわかります。

三井のすまいLOOP会員にサービス開始

「三井のすまいLOOP」とは、三井のすまい居住者専用のメンバーシップサービスのことで、「ミマモ」は「三井のすまいLOOP」に登録しているお客様に向けてサービスを展開します。また、「ミマモ」のサービス対象となるご家族は、サービス開始時は首都圏のマンション居住者とし、2013年1月からは首都圏の戸建て居住者へ拡大。同4月からは全国の居住者へとサービス範囲を拡大する予定です。

※サービス対象となるご家族の住まいには、インターネット環境が必要です。

※サービス提供予定地域のスケジュールが異なる場合があります。

■ミマモ標準仕様と費用

〔標準仕様〕

- ・受信機(HNS-521) 1台
- ・人感センサー4台(外出センサー 1台、安否センサー3台)

〔初期費用〕

機器代金: 75,600円(税込)

設置工事費用: 21,000円(税込)

合計費用: 96,600円(税込)

〔月額使用料〕

基本料金: 1,050円(税込)

※インターネットプロバイダー料金はご利用者の負担となります。

以 上